

アドバイザースタッフ

外部専門家に相談 してみませんか？

新潟県信用保証協会では、経営者の皆さまのお困りごとに
応じて、より高度で専門的な支援を行うためにさまざまな職種
の外部専門家を派遣しています。今回は補助金を活用した経営
改善計画策定などが専門の金子雅信さんをご紹介します。

企業を主体にした 包括的な伴走支援で 「自走」を目指す

スターライト株式会社 代表取締役 金子雅信さん

赤字脱却は正しい原価の把握から

赤字の原因を突き止めるためには財務を客観的に見直す必要がありますが、中小企業にとって容易ではありません。今回ご紹介するのは、会計財務から赤字を見極め、経営改善を支援する金子雅信さんです。「小学生でもダメだとわかる赤字経営を実際に行なっている中小企業もあります。その主な原因は原価計算。例えば、120円のを80円だと思って100円で売ってしまう。原価が正しくないで赤字になるのは当然」。このケースは少なくないそうで、正しく計算ができない要因は「原材料など直接費だけで見積もって、間接費を見ていないこと。小売業の包装資材や飲食業の配達手数料など間接費もしっかり組み込んで計算して欲しい」。また、変動損益計算書で損益分岐点を見極めることも重要視する金子さんは「まずは最低ラインの目標を立てるために損益分岐点を明らかにして過去の決算書から改善の糸口をみつけます」。課題を明確にすると具体的なアクションプランが定まり、計画を立てられるという流れになります。

計画策定の際、必ず金子さんが企業に依頼することがあります。「社長以外の社員を巻き込むようお願いします。社長に改善意欲があっても、会社全体で意欲がなければ成り立たないので2～5名の

幹部従業員を巻き込んで計画を策定します。会社の数字を動かすには社長一人では絶対無理なので私の支援条件にしています」。社員に数字を見せることに抵抗がある事業主もいますが、これは覚悟を持って経営改善に取り組む姿勢も問われているように感じます。



印刷会社での営業職を活かした支援策はかなり具体的

キャッシュの重要性をしっかりと意識する

黒字決算でも手元に現金がなければ商売は立ち行きません。近頃はキャッシュレス決済が増えて売上の入金が遅く、支払いが先になる場合も増えました。「クレジットカード会社に依頼すれば、最短1週間～10日で入金されます。無理だと思わず交渉してみることが大事」。それだけで資金繰りが改善したケースもあるそうです。経営コンサルティング会社を営む金子さんのアドバイスとして「税制は毎年変わります。最近では賃上げ税制、即時償却など最新の税制トレンドを意識した節税でキャッシュを貯めることも有効です」。

事業主をやる気にさせるカギは信頼関係

「大学時代は会計に対する劣等感があったので苦手な方の気持ちがわかる」と金子さんは専門用語を極力使わずに支援します。会社設立も経営者の心情を実感したいとの思いからでした。「改善計画を進めるには事業主のやってみよう！という動機づけが大事。他社の成功事例よりも企業のための計画が必要で、常に信頼関係の構築を心がけています」。



会社の財務状態を知るためにも徹底的な数字のチェックを行う金子さん。「赤字の時はまず現状の原価を疑ってみてほしいです」

スターライト株式会社 代表取締役
金子雅信さん

新潟大学経済学部卒業。平成17年に中小企業診断士登録後、会計事務所に勤務し、多数の経営改善支援に携わる。令和元年に独立開業。支援企業と銀行、金子氏が三位一体となって経営改善に取り組み、主に補助金を活用した改善計画策定を支援する。

外部専門家

中小企業診断士、税理士、公認会計士、
ファイナンシャルプランナー、弁護士、
デザイナー、広告プランナー、POPクリ
エーター、管理栄養士、一級建築士、
医療経営コンサルタント、フードコーディネーター など

